

文化祭、成功裡に終わる

生徒達が待ちに待った文化祭、未曾有の震災を乗り越え、成功裡に終わることができました。

合唱では、3年生の頑張りが本校の文化祭にひときわ大きな花を添えました。どのクラスも朝の練習から、昼、放課後と誰から声を掛ける訳でもなく時間を見つけ、直前まで自分たちの「作品として練り上げました。練習の過程で身に付けた学級の連帯感は、素晴らしい宝物となっています。3年1組、2組はNHK合唱コンクールの課題曲を取り上げました。課題曲ゆえに難しいハードルが幾多もあり、パーツの多いパズルを組み合わせて行くような難しさがある曲でしたが、両クラスとも丁寧に創り上げ、本番に臨みました。1組はぶれない音程感、ハーモニー感、2組は、曲想を捉えた合唱に仕上げました。3組は、これからの卒業式の定番になるであろう新曲に挑みました。曲想を生かそう、平板にならないようにしようとアイデアをちりばめて本番に臨みました。また、急遽、指揮者が変更になってしまいましたが、〇〇君が□□君の想いや願いを担い、見事に役をこなし、素晴らしい歌声を響かすことができました。どのクラスもお疲れ様。1, 2年生に素晴らしい宝物を引き継ぐことができました。

2, 3年の総合学習のプレゼンでは、震災の影響でご協力を頂ける事業所が少なくなったこと等から、文化祭を企画始めた当初は、見送るしかないと思いましたが、しかし、生徒たちから、アイデアがどんどん出てきました。2年が喜多方での体験活動、3年が修学旅行で学んだことの発表をやってみようとなり、さらには、1年生の体験活動で訪ねた会津と相馬の歴史を比較する発表を加え、文化祭までによりやく完成にこぎつきました。直前までアイデアを盛り込んだり、修正を重ねたりして自分たちの体験活動をまとめ上げました。これが、楽しい発表につながった訳です。

保護者の皆さまには、食堂、カレー、うどん、バザーをご担当いただきました。生徒達にとって、文化祭は、自分たちの成長の成果を思う存分、発揮する舞台であった訳ですが、この裏方のお仕事があって、はじめて成せるものでありました。お陰様で、どの生徒の目も輝いていたことと思います。紙面を借りまして改めて、御礼申し上げます。

防災教室より

11月4日(金)に東北大学大学院・工学研究科附属災害制御研究センターより

(津波工学研究分野)を講師に招へいし、防災教室を開催いたしました。今回の地震とその津波被害の特徴(新地町の特徴も含む)、今後の予想される地震について、被害を最小限に抑える心構え・津波被害から身を守るためにどうすればよいかについて、専門的な見地からアドバイスを頂きました。生徒達からの質問についても、1つひとつ丁寧に説明して頂きました。

(まとめ)一番大切なことは自分の身は自分で守る

- ・地震や津波の恐ろしさを忘れない
- ・身近にある災害の原因を知る
- ・危険な場所・安全な場所を知る
- ・地震が発生したら海や川から離れる
- ・崖下・急斜面・ブロック塀などの近くからも離れる
- ・避難するときは近所の人に声をかける
- ・落ち着いて、素早く的確に行動する。



金賞 3年1組 自由曲「手紙」



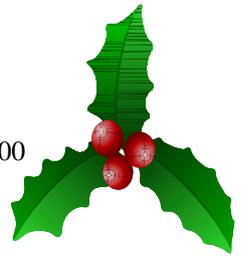
食堂の様子 (多目的ホールにて)

生徒達の主な質問事項

- 双葉断層による地震の可能性
- 避難場所へ向かうには車が有効か。
- 今回の地震でどれくらい沈降したか。
- 今後、3月11日のような地震があり得るのか。
- 津波の陸上での速度について

12月の主な行事予定 いよいよ年末を迎えます。

- 1(木) 3年実力テスト 立番指導 歯科検診
1,2年定着確認シート国語⑤ 1,2年定着確認シート数学⑥
- 3(土) 福島県中学校新人卓球大会 須賀川アリーナ
バスケット選抜強化協議会 郡山三中 バレー部義援金授与 13:00～14:00
- 5(月) 三者面談
- 6(火) 三者面談
- 7(水) 三者面談
- 8(木) 三者面談 1,2年定着確認シート英語⑥
- 9(金) 三者面談
- 10(土) 年末年始交通安全運動初日
- 15(木) 立番指導
- 16(金) アンコン壮行会 15:30～
- 17(土) アンサンブルコンテスト ゆめはっと
- 18(日) アンサンブルコンテスト
- 19(月) 生活委員会
- 21(水) ※実力テスト1, 2年
- 22(木) 終業式



12月の土曜日に3年生向けの学習会としてYWCA講習会が予定されています。日程が決まりましたら、お知らせいたします。冬休みの行事は決まっていますが、新地町教育委員会主催の2, 3年対象のトライ塾が例年実施されています。学力定着の機会として活用できればと思います。

あぶない！携帯を介したインターネットの出会い

決して対岸の火事ではありません。（神奈川県警ウェブ引用）

携帯電話を介して、「出会い系サイト」を通じて人と知り合い、実社会で会ってしまったため、殺人、誘拐、性犯罪の被害等に遭ってしまうことがあります。

そうした被害者の約9割が18歳未満の人（特に女子中高生）であり、その殆どが携帯電話で「出会い系サイト」を利用していました。

犯罪事例

逮捕監禁・性犯罪の被害

女子高校生が出会い系サイトで知り合った男に手錠をかけられ、トラックで連れまわされ暴行された。この事件では、被害者の女子高校生は愛知県から長野県まで約10時間、トラックで連れ回され、一時、手錠だけではなく、粘着テープで目と口をふさがれていたとのこと。



不正誘引・児童買春周旋

女子中学生2名は、出会い系サイトに「カラオケ連れて行ってくれる人いませんか？」等と書込み、連絡してきた男らにだまされて性風俗店に連れていかれ、売春させられた。この事件では、女子中学生2名が不用意に出会い系サイトに書込みをし「カラオケだけなら...」、「友達も一緒だし...」等といった安易な考えで、連絡してきた男らに会いに行き言葉巧みにだまされて被害にあったとのこと。



殺人事件

女子大生が出会い系サイトで知り合った男に殺害され、遺体を川に捨てられた。この事件では、友人に「メル友に会いに行く」と言って出かけ行方不明になっていた被害者の水死体が川で発見され、被害者とメールで連絡を取り合っていた男が逮捕されました。その後、この男は事件の数日前に、出会い系サイトで知り合った会社員の女性を同様に殺害していたこともわかったとのこと。

こうした危険性は、インターネットで知り合った者と実社会で会うことで生じます。ですから、出会い系サイトに限らず、SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)と呼ばれるコミュニケーションサイト、他の利用者と連絡が取り合えるゲームサイト等にも当てはまります。ご注意ください！